考 査 項 目 別 運 用 表

(総 括 監 督 員)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
2 施工状況	II 工程管理	工程管理が優れている	工程管理がやや優れている	他の評価に該当しない	工程管理がやや劣っている	工程管理が劣っている
	評価結果 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	<p>※ 該当項目を現場への臨場、実施工程表、工事履行状況報告書及び施工体制書類をもとに総合的に判断して評価する。</p> <p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。 2 隣接又は同一現場の他工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 3 近隣住民（入居官署等を含む）調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 4 配置技術者（現場代理人等）の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 5 その他 [理由：] <p style="text-align: right;">] 該当 <input style="width: 15px; height: 15px;" type="checkbox"/> <input style="width: 15px; height: 15px;" type="checkbox"/></p> <p>● 判断基準</p> <p>上記該当項目を総合的に判断して a, b, c, d, e 評価を行う。</p> <p style="text-align: right;">] 評価 <input style="width: 15px; height: 15px;" type="checkbox"/></p>				
	III 安全対策	安全対策が優れている	安全対策がやや優れている	他の評価に該当しない	安全対策がやや劣っている	安全対策が劣っている
	評価結果 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	<p>※ 該当項目を現場への臨場、工事写真及び安全衛生関係書類をもとに総合的に判断して評価する。</p> <p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 2 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。 3 安全衛生管理活動が、適切に実施されている。 4 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 5 安全協議会活動に積極的に取り組んでいる。 6 その他 [理由：] <p style="text-align: right;">] 該当 <input style="width: 15px; height: 15px;" type="checkbox"/> <input style="width: 15px; height: 15px;" type="checkbox"/></p> <p>● 判断基準</p> <p>上記該当項目を総合的に判断して a, b, c, d, e 評価を行う。</p> <p style="text-align: right;">] 評価 <input style="width: 15px; height: 15px;" type="checkbox"/></p>				

考 査 項 目 別 運 用 表

(総 括 監 督 員)

審査項目	細 別	評 価 対 象 項 目	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4 工事特性 (施工条件等への対応)	I 建物規模への対応 加点 ☐	<p>1 延べ面積10,000㎡以上の建物 ☐</p> <p>2 地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物 ☐</p> <p>3 大空間のホール等を有する建物 ☐</p> <p>4 その他 [理由:] ☐</p> <p>※ 上記の対応事項に1つ以上チェック☑がつけば2点の加点とする</p> <p>具体的な評価内容</p> <input type="text"/>	
	II 建物固有の機能の難しさへの対応 加点 ☐	<p>5 対象建物の耐震レベル ☐</p> <p>6 建物機能の特殊性 ☐</p> <p>7 その他 [理由:] ☐</p> <p>※ 上記の対応事項に1つ以上チェック☑がつけば2点の加点とする</p> <p>具体的な評価内容</p> <input type="text"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事 ・電気又は暖冷房衛生設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物
	III 建物固有の施工技術の難しさへの対応 加点 ☐	<p>8 建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合【総合評価における技術提案は除く】 ☐</p> <p>9 設計条件として、工法、材料及び設備システム（機材を含む）の特殊性 ☐</p> <p>10 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合 ☐</p> <p>11 その他 [理由:] ☐</p> <p>※ 上記の対応事項に1つ以上チェック☑がつけば2点の加点とする</p> <p>具体的な評価内容</p> <input type="text"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・特殊な工法及び材料等を採用した工事 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・免震装置を設ける工事 ・大規模な山留め工法が必要な工事 ・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り回しを行う工事 ・仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事
	IV 厳しい自然・地盤条件への対応 加点 ☐	<p>12 湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時） ☐</p> <p>13 軟弱地盤、支持地盤の影響 ☐</p> <p>14 雨・雪・風・気温等の影響 ☐</p> <p>15 その他 [理由:] ☐</p> <p>※ 上記の対応事項に1つ以上チェック☑がつけば2点の加点とする</p> <p>具体的な評価内容</p> <input type="text"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事 ・液状化対策工法や地盤改良を伴う工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事

考 査 項 目 別 運 用 表

(総 括 監 督 員)

考査項目	細 別	評 価 対 象 項 目	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4 工事特性 (施工条件等への対応)	V 厳しい周辺環境、社会条件との対応 加 点 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 5px;">該当</div> 16 地中埋設物等の作業障害 ☐ 17 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物 ☐ 18 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 ☐ 19 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 ☐ 20 その他 [理由:] ☐ ※ 上記の対応事項に1つ以上チェック☑がつけば2点の加点とする 具体的な評価内容 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; margin-top: 5px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事 ・場内に汚水処理装置（水替え）を必要とする工事 ・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事 ・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事
	VI 施工現場での対応 加 点 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 5px;">該当</div> 【長期工事における安全確保への対応】 21 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事（ただし全面一時中止期間は除く） ☐ 【災害等での臨機の措置】 22 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事 ☐ 【施工状況（条件）に対応した施工・工法等】 23 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 ☐ 24 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 ☐ 25 休日・夜間作業が工程の過半を超える工事 ☐ 26 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事 ☐ 27 特に困難な調整を要する他工事（近接工区）の受注者が複数ある工事 ☐ 28 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事 ☐ 29 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事 ☐ 30 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や巡回等に制約を受けた工事 ☐ 31 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事 ☐ 32 その他 [理由:] ☐ ※ 上記の対応事項に1つにチェック☑がつけば4点の加点とし、最大10点とする。 具体的な評価内容 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; margin-top: 5px;"></div>	
	評 価	評 点 _____点	

考 査 項 目 別 運 用 表

(総 括 監 督 員)

考査項目	細 別	a	ab	b	bc	c
6 社会性等	I 地域への貢献度	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
		<p>※ 該当項目を現場への臨場，工事写真及びその他関係書類をもとに総合的に判断して評価する。</p> <p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 災害時等に地域への救援活動等に協力した。 2 周辺地域の環境保全、生物保護等について、具体的な対策をした。 3 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。 4 広報活動や現場見学会等を実施して、地域とのコミュニケーションを図った。 5 地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。 6 その他 [理由：例：工事資材の市内調達を優先及び市内下請業者の優先活用に取り組んだ。] <p>● 判断基準 上記該当項目を総合的に判断して a, ab, b, bc, c 評価を行う。</p>				
		評価結果 <input style="width: 40px; height: 20px; border: 2px solid black;" type="text"/>	該当 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 評価 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(総 括 監 督 員)

考査項目	法 令 遵 守 等 の 該 当 項 目 一 覧 表	
7 法令順守等		
評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>	措 置 内 容	点 数
	☐ 1 指名停止3ヶ月以上	- 20 点
	☐ 2 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	- 15 点
	☐ 3 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	- 13 点
	☐ 4 指名停止1ヶ月未満	- 10 点
	☐ 5 文書注意	- 8 点
	☐ 6 口頭注意	- 5 点
	☐ 7 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合	- 3 点
	☐ 8 その他 理由：	点数を直接入力 - 点
	☐ 9 該当項目なし	
	<p>① 本考査項目「7 法令遵守等」における評定は、本件工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上記の措置があった場合に適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「施工」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。 ・「工事関係者」とは、本件工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、受注者の現場従事者及び本件工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。 <p>② 総合評価落札方式で入札を行った工事において、受注者の責めにより、受注者が提示した技術提案等の内容が履行されなかった場合は、「8 その他」の項目で当該提案項目の加算点を減点するものとする。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2 承諾なしに権利または義務を第三者に譲渡又は承継した。 3 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 5 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6 一括下請けや技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金等支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。 11 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。 12 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織（団体）」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。 13 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の購入、作業員やガードマンの受入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 14 受注企業及び下請け等が暴力団員等による不当介入を受けたが警察等への通報等を怠った。 15 安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆災害事故を起こした。 なお、人身事故の場合を除き、公衆損害に係るガス管や電気・水道・電話の事故等により、本市（契約課等の関係課）が文書又は口頭による嚴重注意を行う場合がある。この場合は、その影響の度合が現場周辺の数世帯程度かつ不慮の事故によるもので、重大な事故につながる等その影響及び責任の度合が著しく軽微であるときは、上表の「7」と同等として、-3点の措置点数を行うことができる。 16 受注者が社会保険等未加入業者と下請契約をした。（発注者が特別な事情を有しないと認めた場合、又は特別な事情を有すると認めた場合で、発注者が定める一定の期間内に、当該社会保険等未加入建設業者が社会保険等に届出の義務を履行した事実を確認できる書類が提出されなかった場合。） 	